

水をひく仕事 町がいつごろからどのように水道の仕事を進めてきたのかを調べてみると、端村集落にかんい水道を作ったのが最初です。端村にはよい水がなかったからです。その後、昭和51年に、野沢・尾野本・群岡地区に上水道をひくなど、次々に他の地区にも水道が作られるようになりました。給水量の増加にともない、小島浄水場が作られ、平成9年から給水を開始しています。

水をひく仕事 町がいつごろからどのように水道の仕事を進めてきたのかを調べてみると、端村集落にかんい水道を作ったのが最初です。端村にはよい水がなかったからです。その後、昭和51年に、野沢・尾野本・群岡地区に上水道をひくなど、次々に他の地区にも水道が作られるようになりました。給水量の増加にともない、小島浄水場が作られ、平成9年から給水を開始しています。

水道を広げる計画 町では、衛生的で安全な水をどの地区にも供給できるように、計画を進めています。現在、小綱木かんい水道を平成13年から給水開始できるように、工事を進めています。しかし、町には、近くに水源がないなどの理由で、水道を通すのがむずかしい地区もあります。

水道を広げる計画 町では、衛生的で安全な水をどの地区にも供給できるように、計画を進めています。現在、小綱木かんい水道を平成13年から給水開始できるように、工事を進めています。しかし、町には、近くに水源がないなどの理由で、水道を通すのがむずかしい地区もあります。

これからは、水がますます多く使われるようになるので、水資源を守るために、わたしたちは水を大切に使わなければなりません。

水道しせつ事業のあゆみ

年	おもなことから
1956年 (昭和31年)	・端村かんい水道ができた。
1962年 (昭和37年)	・柴崎部落営水道施設ができた。
1964年 (昭和39年)	・出ヶ原部落営水道施設ができた。
1976年 (昭和51年)	・上水道が引かれた。
1979年 (昭和54年)	・安座部落営水道施設ができた。 ・弥平四郎部落営水道施設ができた。
1983年 (昭和58年)	・奥川地区かんい水道ができた。 ・松峯地区水供給施設ができた。
1984年 (昭和59年)	・八重窪地区飲料水供給施設ができた。
1985年 (昭和60年)	・杉山・徳沢地区かんい水道ができた。
1987年 (昭和62年)	・宝坂地区かんい水道ができた。 ・軽沢部落営水道施設ができた。
1988年 (昭和63年)	・青坂地区飲料水供給施設ができた。
1989年 (平成元年)	・川谷部落営水道施設ができた。
1990年 (平成2年)	・弥生部落営水道施設ができた。
1997年 (平成9年)	・新郷地区かんい水道ができた。
1998年 (平成10年)	・尾登地区かんい水道ができた。 ・高陽根地区かんい水道ができた。
2001年 (平成13年)	・熊沢部落営水道ができた。 ・橋屋部落営水道ができた。 ・小綱木地区かんい水道ができる予定。



水をひく工事